

# 「日本化」とマクロ経済政策の変貌

東京財団政策研究所主席研究員

はやかわ ひでお  
早川 英男

- \*世界に広がる経済の「日本化」
- \*日銀は異次元緩和政策をどう変更してきたか
- \*20世紀初頭に酷似する経済政策
- \*金融政策万能論のブームと後退
- \*活発化した財政出動に関する論議
- \*マクロ安定化政策の脇役になった中央銀行
- \*気候変動問題への対応をいかにするか
- \*バイデンの大規模財政出動に成功の可能性
- \*ここからのアメリカ経済を考える視点
- \*日本の膨張する財政赤字への処方箋



**柴生田** それでは開会いたします。

本日は東京財団政策研究所主席研究員の早川さんにおいでいただきました。この会はたしか2回目だと思いますが、1954年のお生まれで、東京大学ご卒業後、日本銀行に入行され、在職中にアメリカのプリンストン大学でMAを取得されておられます。その後、調査統計局長、名古屋支店長、理事を歴任された後、富士通総研を経て、現在、東京財団においでになっておられます。

月1回程度は経済をテーマにいろいろな方においでいただいておりますが、こういう状況でございますので、当面の景気動向ではなく、構造的な問題とか、日本の抱えている問題について早川さんの分析をしていただくということ

でございます。

それでは早川さんよろしくお願いいたします。

## 世界に広がる経済の「日本化」

早川 ご紹介いただきました早川です。

今日は「日本化」とマクロ経済政策の変貌というテーマで1時間少しお話ししようと思っております。

今日のテーマは「日本化」です。「日本化」というのはここ3〜4年、主に金融市場関係者を中心に使われておりまして、昔は「Japanization」という言葉がありました。最近「Japanification」という言葉がよく使われています。明確な定義があるわけではないんですけども、何を考えられているかというと、低成長、低インフレ、低金